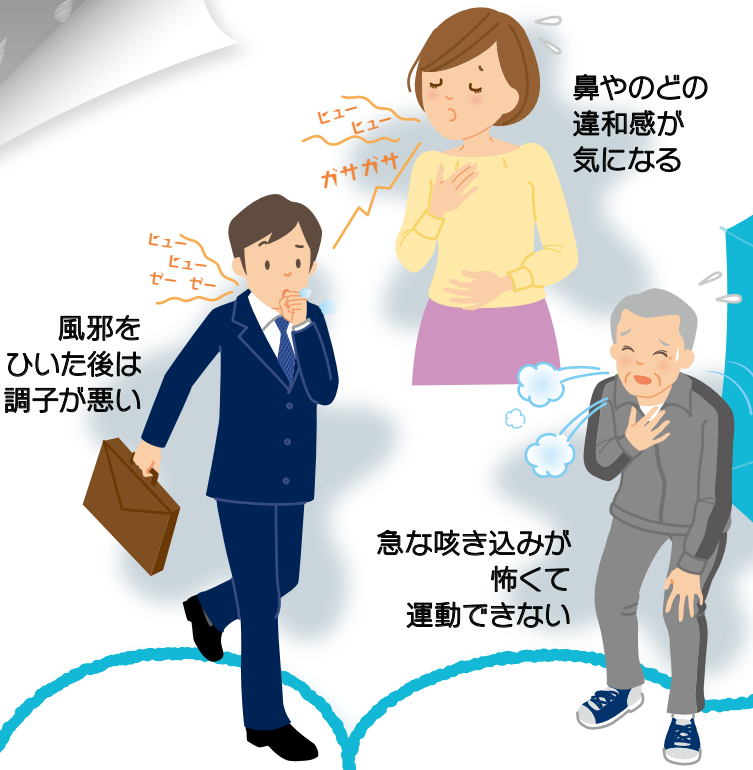
Kyorin

正しく知ろうあなたの喘息

〈監修〉昭和医科大学病院 病院長 **相良博典** 先生

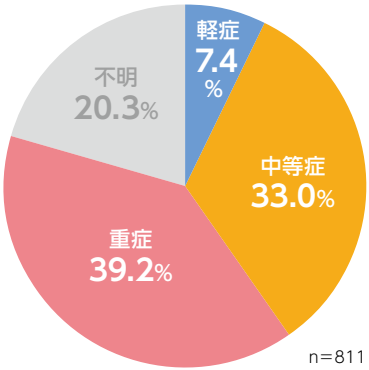
喘息を治療中のあなた、
毎日の治療を続けていますか?
また、症状は残っていませんか?
きちんと治療をすることで、
健康な人と変わらない
日常を目指しましょう。

症状が残っているということは、



こんな思いあな要注

成人喘息の喘息死前の喘息重症度



n=811

喘息の治療はこの20年で劇的な進歩を遂げ、今ではきちんと治療すれば多くの方が症状を抑えられるようになりました。

しかし一方では喘息で亡くなる方も多く、2022年には**1,004人**が亡くなられています。その中には軽症の患者さんも含まれています。

調査年：1992～1994年、1995～1997年
調査方法：アンケート調査
規模：日本の100床以上を有する病院

喘息予防・管理ガイドライン2024

症状が軽い患者さんでも、小さい症状だと見過ごさず、きちんと治療していかなければなりません。

治療が完全ではない可能性があります。

症状が当たるたは意！

明らかな喘息の症状(発作)ではないからと
治療を放っておいてはいませんか？

ちょっと我慢すればやり過ごせるからと
色んなことを諦めてはいませんか？

このような症状があれば
喘息が悪くなっている、あるいは
治療をしているつもりでも
治療の効果がちゃんと得られていない
可能性があります。

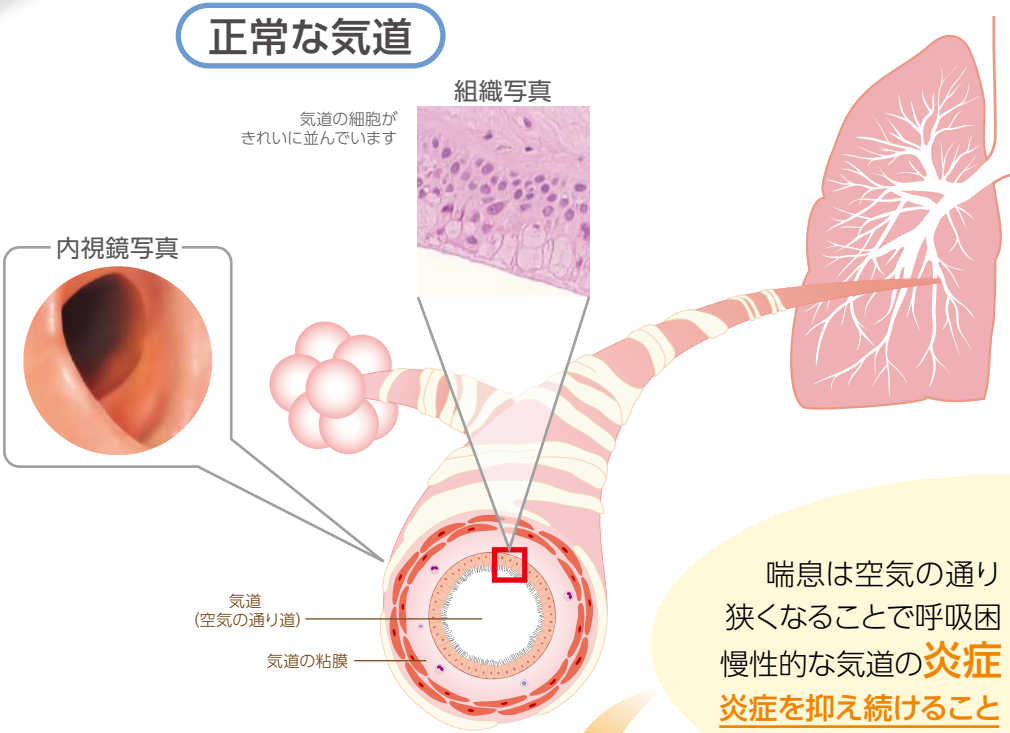
季節の変わり目や
寒暖の差で喘息のような
症状が出る

仕事中や授業中に咳が
止まらなくて
困ったことがある

咳き込んで
眠れないことがある

正しく治療しないと、病気が進行するのは

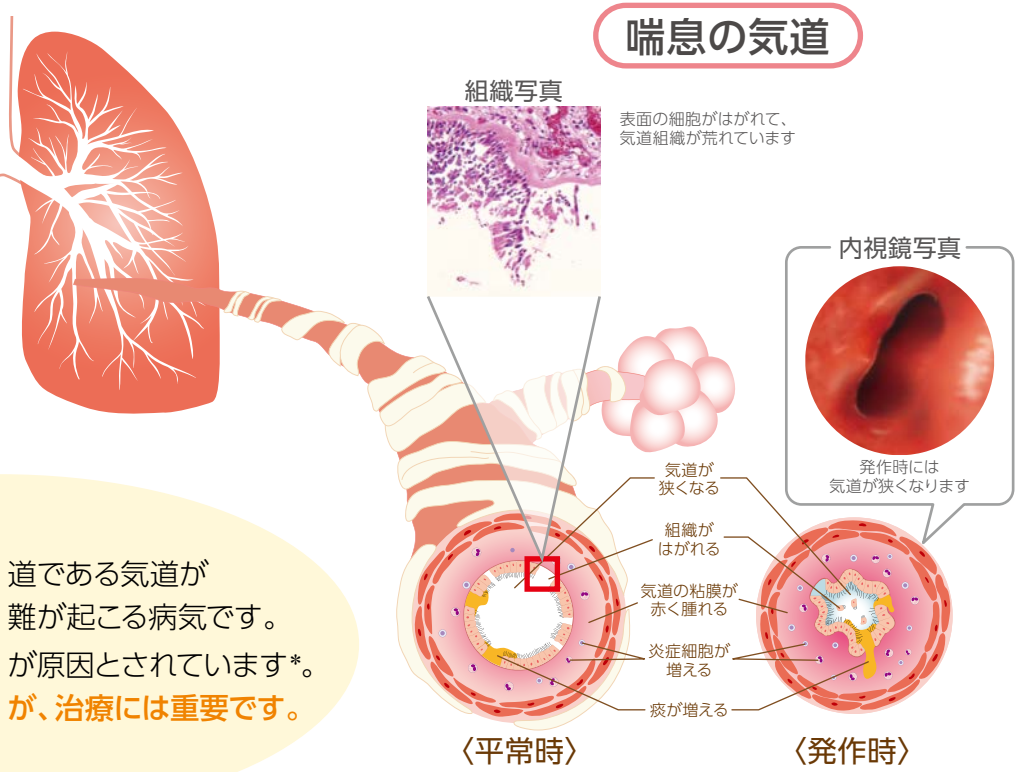
正常な気道



喘息は空気の通り
狭くなることで呼吸困
慢性的な気道の**炎症**
炎症を抑え続けること

喘息では、
慢性的な炎症のために気道がむくみ(浮腫)、
気道の中の分泌物が増えたりして、
空気の通り道が狭くなっています。
そのため花粉・ダニ・ハウスダストなどのアレルゲン
(=アレルギー反応を引き起こす物質)や
たばこの煙の吸入、ウイルス等の気道感染、
冷たい空気、ストレス等の刺激をきっかけに
気道の筋肉が収縮して呼吸困難が起きてしまいます。

症状が強くなくても
なぜでしょうか？



道である気道が
難が起こる病気です。
が原因とされています*。
が、治療には重要です。

＊：喘息予防・管理ガイドライン2024

発作止めのお薬(気管支拡張薬)で
症状がよくなったからと
炎症を抑えるお薬の服用を怠ると、
気道の炎症は持続し、
知らない間に病気が進行していきます。
小さい発作を何度も繰り返すうちに、
何かのきっかけで、
大きな発作を起こしてしまうことに
なりかねません。

喘息にはこんな

〈毎日続けること〉

生活習慣

禁　煙

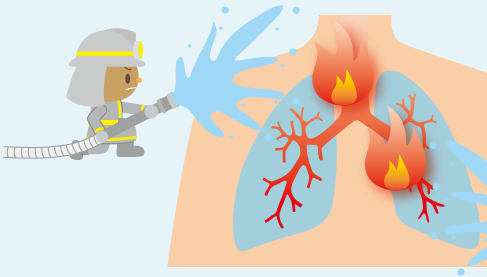
アレルゲンを避ける

ストレスを減らす

薬物治療

気道の炎症を抑える治療

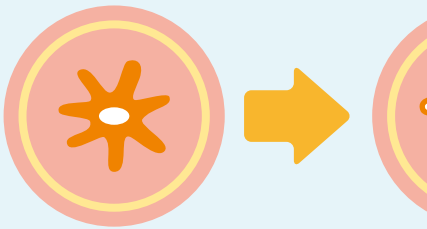
- 吸入ステロイド薬
- ロイコトリ



気道を拡げる治療

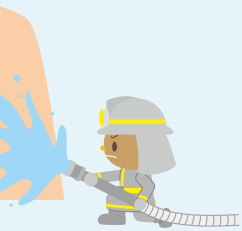
(重症度によって、炎症を抑える治

- 長時間作用性β_2刺激薬
- 長時間作用性抗コリン薬　など



治療があります。

エン受容体拮抗薬
など

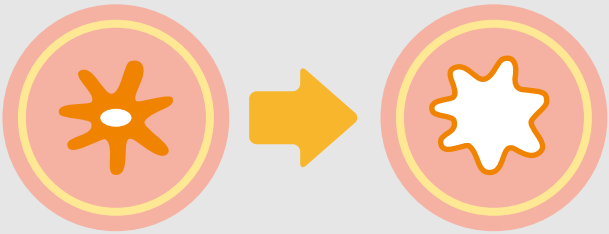


療に追加します）

〈発作時〉

気道を素早く拡げる治療

- 短時間作用性β_2刺激薬



〈症状が重い場合〉

- 抗体製剤
- 経口ステロイド薬

「…でも！」と思った

Q 咳が長く続くんですが、これも喘息ですか？

A

風邪などの原因がなく、咳が1ヵ月以上続く場合は、咳喘息の可能性があります。咳喘息は喘息の前段階と考えられ、喘息へ移行する場合がありますが、治療によって移行を予防できる可能性がありますので、早めに主治医の先生に相談しましょう。

Q 吸入ステロイド薬は、飲み薬とどう違うんですか？

A

吸入ステロイド薬は飲み薬のタイプよりも用量が少なく、吸入することで気道にお薬が届くように工夫されています。

Q もう咳も発作もないし、治ったんじゃないかな。お薬やめちゃってもいいですか？

A

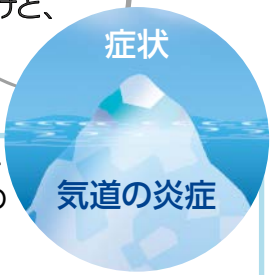
症状がないからといってお薬を中断してしまうと、炎症が再燃してしまうことがあります。喘息患者さんの気道は慢性的に炎症を起こしているので、炎症を抑えるお薬での継続治療が必要です。治療薬の減量や中止は、主治医の先生が見極めて判断しますので、指示があるまでは現状のまま治療を継続してください。

あなた、その疑問に答えます。

Q 症状のあるときだけ発作止め（気管支拡張薬）を使ってなんとかなってるんだけど、ダメですか？

A

喘息という病気を氷山に例えると、咳やゼーゼー（喘鳴）という症状は氷山の一角に過ぎず、その下には慢性的な気道の炎症があります。
発作止めでは、一時的に症状を抑えるだけで、気道の炎症を治療することはできません。



Q 子供の頃、喘息だったけど治ったはずなんだ。何でまた悪くなるんだろう？

A

喫煙やストレス、生活習慣の乱れなどが原因となり、風邪などをきっかけに再発する人も少なくありません。成人してからの喘息も適切に治療する必要があります。

Q お薬を毎日吸入しているのに、咳が出たり苦しいことがあるんですけど

A

吸入するタイプのお薬は、吸入が正しく行えていないと、気道にお薬が十分量届かず、効果が発揮されません。
十分な喘息の治療をしても咳が続く場合、鼻に炎症があったり、食道に障害があったり、咳の神経が過敏になっていたりと喘息以外の原因が隠れている可能性があります。
ささいな症状でも主治医や薬剤師の先生に相談してください。
適切な治療を行うことで良くなる可能性があります。

喘息の治療は、「毎日、きち
症状を予防する」
それは虫歯をつくらないため

症状が
医師の指示どおりに

Comfortable everyday

健康な人と変わらない
快適な日常生活を
送るために

就寝中
邪魔されな

んとお薬を服用することで
ことが大切です。
に毎日歯を磨くのと同じこと。

なくても、
治療を継続しましょう。

の咳に
いために

発作を心配
することなく
色んなことに
チャレンジするために

病医院名

管理用コード

キョーリン製薬

改訂年月：2025.9
ICFF 0053